

買掛金元帳（仕入先元帳）

- ・買掛金元帳は、会社が必要に応じて作成する（ ）であり、買掛金勘定における明細を記入する（ ）である。
- ・主な目的として、仕入先ごとに買掛金の（ ）の状況を把握するために作成される。
- ・《買掛金元帳の各項目について》

【日付欄】
 ・取引の日付を記入
 ・取引が同日の場合は「//」でも可能。

【借/貸欄・残高欄】
 ・買掛金がマイナス（借方残高）になることはない
 ・ので基本的に「貸」と残高の金額を記入する。

買掛金元帳 X社 ←仕入先名

日付	摘要	借方	貸方	借/貸	残高
1 1	前月繰越		1,000	貸	1,000
15	仕入		2,500	//	3,500
25	返品	500		//	3,000
30	支払い	2,500		//	500
31	次月繰越	500			
		3,500	3,500		
2 1	前月繰越		500	貸	500

【摘要欄】
 ・「仕入」「返品」「支払い」など買掛金に動きがある場合に、その内容を記入する。
 ・「次月繰越」は、本来朱書きするが、試験では黒で問題ない。

【借方欄・貸方欄】
 ・買掛金の増加は「貸方」に、減少は「借方」の欄に記入する。
 ・締切る時は「次月繰越」で調整した金額を記入する。
 ・合計線を引き、貸借を合計したら仕切線（二重線）を引く。

練習問題

- ・1月の買掛金元帳(仕入先元帳)を完成させ、締切りまで行いなさい。
- 1月10日 A社より商品7,000円を仕入れ、代金は掛けとした。
 - 1月20日 1/10に掛けて仕入れた商品のうち、2,500円が故障していたので返品した。
 - 1月30日 A社に対する買掛金3,500円について、代金は小切手を振出して支払った。

買掛金元帳 A社

日付	摘要	借方	貸方	借/貸	残高
1 1	前月繰越		3,000	貸	3,000